Super SHIP

取扱説明書

SHIMANO

ごあいさつ／目次／標準付属品

このたびは、アンタレス DC7LV シリーズをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
アンタレス DC7LV の機能を十分に引き出し、末永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、リール同様大切に保存してくださるようお願い申し上げます。

●標準付属品

取扱説明書・分解図・専用リール袋・専用レンチ・オイル・保証書

仕様

<table>
<tr><th>機種名</th><th>商品コード
製品コード</th><th>ギア比</th><th>標準自重
(g)</th><th>最大ドラグ力
(N/kg)</th><th>ベアリング数
(ボール/ローラー)</th><th>糸巻量
(号-m)</th></tr>
<tr><td>ANTARES
DC7LV</td><td>02188
RH494000</td><td rowspan="2">7.0:1</td><td rowspan="2">255</td><td rowspan="2">49/5.0</td><td rowspan="2">10/1</td><td rowspan="2">3-140
3.5-120
4-110
5-90</td></tr>
<tr><td>ANTARES
DC7LV 左</td><td>02189
RH495000</td></tr>
</table>

●**ナイロン糸の標準直径 (m/m)**
3号(12lb)- φ 0.285　3.5号(14lb)- φ 0.310
4号(16lb)- φ 0.330　5号(20lb)- φ 0.370
※銘柄により太さ表示は異なる場合があります。

●製品改良のため、仕様及びデザインの一部を予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

●アンタレス DC7LV ではベアリングに新設計のシールドタイプ S A-RB を採用。従来の A-RB の側面に防錆素材でシーリングし、塩水の浸入を減少。A-RB 処理によるベアリングの防錆性はもちろん、ベアリング内部に浸入した塩分の結晶化による“塩噛み”をも減少させ、ソルトウォーターでの使用をさらに快適なものにしています。

S A-RB

各部の名称　※ライトハンドルのイラストで説明しています。

■テーパードレベルワインド
スプール側の径をテーパーを付けて広げることで、ラインの通過抵抗を軽減しました。

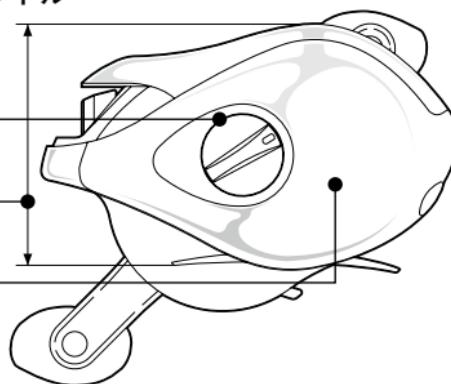
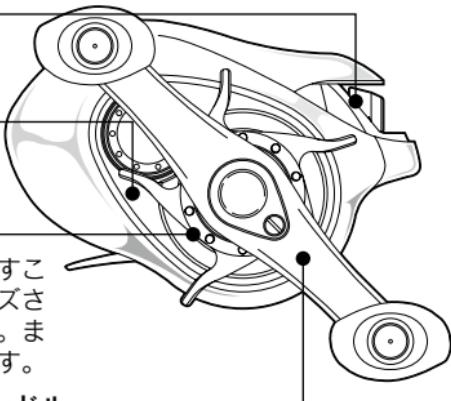
■スーパーストッパー
ハンドルをどの位置で止めてもピタッと逆転が停止します。気になるガタつきもなく、フッキング時のタイムロス、パワーロスを防ぎます。

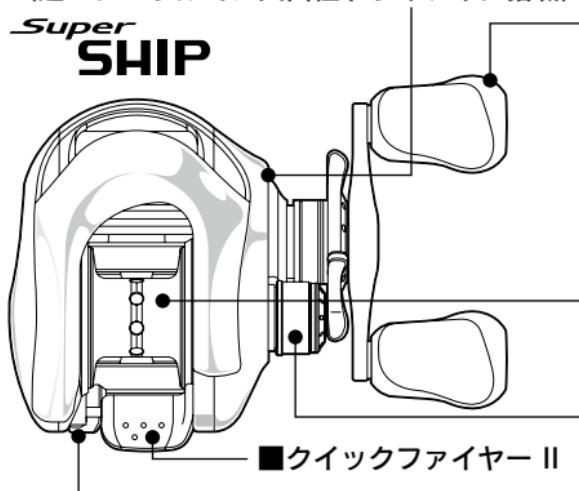
■スタードラグ
ハンドル側から見て、時計回りに（レフトハンドルは反時計回りに）回すことでドラグが締まります。カーボンワッシャーの採用で耐水性とスムーズさを、そしてアルミコールドフォージング（冷間鍛造）により剛性を向上。また、新形状スタードラグデザインにより指へのフィット感を高めています。

■アルミコールドフォージング（冷間鍛造）による 42mm ロングハンドル
強度と美しさのためにコールドフォージングで仕上げ、ハンドルノブ軸には強化カシメ工程を加えました。

■4×8デジタルコントロールブレーキシステム
（詳細は6～13ページ）

■ロープロファイルロングノーズボディ
パーミング性、遠投性能に求められる形を追求し設計されています。

■メタニウムミラーフィニッシュボディ
傷に強く、金属そのものの輝きを持たせたアンタレス独自のメタニウムミラーフィニッシュ。

■スーパーシップ + ハイスピードギア 7:1（超々ジュラルミン大口径ドライブギア搭載）

■クイックファイヤー II

■エスケープハッチ機構

デジタルコントロールブレーキモードの選択、オイルインジェクションポートへのアクセスがスムーズになるエスケープハッチ機構。レバーを押し下げることで、本体Bのロックが解除され、開くことができます。（釣りに使用される時や、持ち運びの時はレバーを上げてロックされている状態にしてください。）

■右（または左）ハンドル専用形状 S A-RB 内蔵ハンドルノブ

右手（レフトハンドルは左手）でつまむことを前提とした専用形状でフィット感の向上と疲労を軽減。ノブにはそれぞれS A-RBを2個内蔵しています。

■マグナムライトスプール

超々ジュラルミンで可能な限りムダを削ぎ落とし、敏感な立ち上がりを確保したマグナムライトスプール。
エッジは極限まで削り込まれていますので、取り外した際の取り扱いは充分にご注意ください。

■マイクロピッチクリック付きスプールドラグツマミ

スプールドラグツマミはスプールの回転にブレーキをかけるものです。右に回すとスプールのフリー回転にブレーキがかかり、左に回していくとそのブレーキは弱くなります。精密なクリックとマイクロピッチで微妙な調整を可能にします。（アンタレスDCはデジタルコントロールブレーキが働くため緩めの設定で使用可能です。）

※スプールドラグツマミは緩めて使うことができますが、緩めすぎた場合、スタードラグに当たることがあるのでご注意ください。

４×８デジタルコントロールブレーキシステムについて

●夢のブレーキシステム「４×８デジタルコントロールブレーキ」。

ルアーを始めとしたスポーツフィッシングにおいて、シマノが永年こだわり続けてきた“キャスティング”。その“キャスティング”への飽くなき探究心が、夢のＤＣ（デジタルコントロール）ブレーキシステムを第二世代へと進化させました。

リール内部に組み込まれた電子回路に任意のブレーキ設定をプログラムすることで、1/1000 秒ごとのブレーキの有無や強弱を自由に設定。熟練者の神がかり的な技術に匹敵するかそれ以上の絶妙なブレーキングが誰にでも可能になりました。

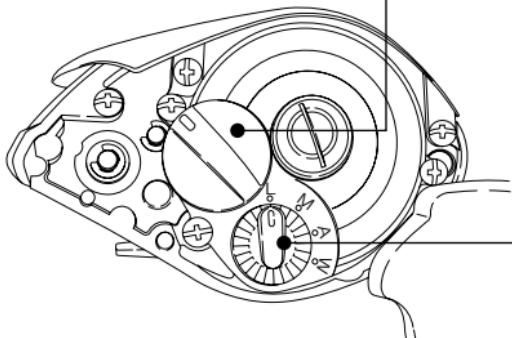
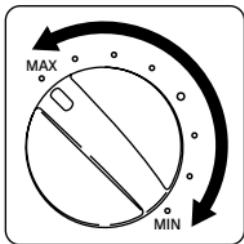
さらにアンタレス DC7LV ではあらゆる使用状況を想定し、キャスティングメカニズムそのものを徹底解析。様々な状況で理想とされるブレーキパターンを４つに大別し、それぞれに対応すべく４つのモードを設定しました。（内部調整４モード×外部調整８ボリュームの３２パターン）

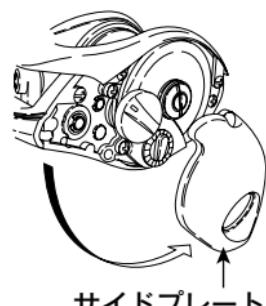
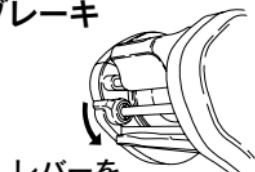
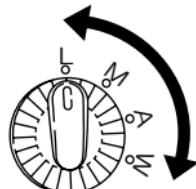
アンタレス DC7LV に搭載された第二世代ＤＣブレーキシステムは、熟練者から初心者までのさまざまなアングラーが、スポーツフィッシングの原点であるキャスティングの楽しさを大いに堪能できるに違いありません。

※糸径と重さ（比重）によって必要なブレーキ力が異なります。
※フルラインで通常のバスタックルで無改造では 35000 ～ 40000rpm 程度にしか到達しませんが、ロングロッド、糸巻き量が少ないなどで 50000rpm 以上回転する可能性があります。

4×8デジタルコントロールブレーキの設定について ※ライトハンドルのイラストで説明しています。

■デジタルコントロールブレーキ 調整ダイアル

8段階の調節が可能です。**MIN**から**MAX**へとブレーキ力は強くなります。初めてご使用の際は**MAX**にセットして、様子を見ながらブレーキの効き方を覚えて行くことをおすすめします。

■デジタルコントロールブレーキ モードダイアル

エスケープハッチレバーを右図の矢印方向に倒すとサイドプレートが開き、本体内部に搭載されたデジタルコントロールブレーキモードダイアルが調整できます。下記の4パターンのブレーキモードの選択が可能です。（各モードの詳細は8〜11ページ参照）

- **L**（ロング）
- **M**（マルチ）
- **A**（アキュラシー）
- **W**（ウィンド）

4 パターンのブレーキモード

Lモード （ロングディスタンスモード：弱め）

追い風の恵まれた条件でスプーン、ジグスピナー、メタルジグなどの金属系ルアーを超遠投するためのロングディスタンスモード

キャスト直後のエネルギーを極限まで利用し、最大回転数を可能な限り高め、さらに中盤以降をほとんどフリーにするブレーキ設定です。
人間の手ではコントロールが難しい極めて速い初速の制御を完璧にこなします。特に８～９フィート級のロングロッドでの遠投に最適。（逆に６フィート未満ロッドの片手投げでは十分な初速が得られないため、メタルジグなどの金属系ルアー以外にはほとんど適していません。）
Ｌ－８～７は追い風ダブルハンドキャストのバイブレーション、スプーン、横風の金属系ルアー。Ｌ－６～５はロングロッド使用や追い風での金属系ルアー。Ｌ－４以下の弱いブレーキは通常使用ではほとんど使えませんが、上級者やさらなる強風追い風に対応。特にＬ－２～１はすべてにおいて最高の条件でのみ使用可能な微弱ブレーキです。
また、このモードは特に糸の巻きすぎに注意してください。どうしても使いにくいと感じられる場合は、糸巻き量を少しずつ減らして調整することをお勧めします。PE ライン使用時にもやや少なめの巻き量でＬ－８～７での使用をお勧めします。

ダイアルNo.	8（Max.）	7	6	5	4	3	2	1（Min.）
	L－8	L－7	L－6	L－5	L－4	L－3	L－2	L－1

Mモード （マルチモード：やや弱め）

重心移動式プラグやペンシルベイト、バイブレーションなど空気抵抗の少ないプラグで快適に遠投できるように設定したマルチブレーキモード

キャスト直後のオーバーランを抑えつつ、中盤以降を上手く補正してギリギリのところでバックラッシュさせずに飛距離を延ばしてくれます。
Mモードは大きく３つに分かれており、Ｍ－８～６はやや強め設定、Ｍ－５～３はやや弱め設定、Ｍ－２～１はかなり弱め設定になっています。
空気抵抗は少ないが比重の軽いミノーやペンシルベイトなどはM－７、比重が重くなるバイブレーションなどはM－４を基準として考え、フロロラインなら強め、ロングロッドならかなり弱め、無風なら強め、強い追い風ならかなり弱めで調整してみてください。
ナイロン１２ポンドの場合、片手投げではペンシルベイトで６前後、バイブレーションで5前後。両手投げではペンシルベイトで４前後､バイブレーションで3前後程度が目安。８フィート以上のロングロッドなら１～２段階弱め、またフロロラインの場合１～２段階強めの設定がマッチします。

ダイアルNo.	8（Max.）	7	6	5	4	3	2	1（Min.）
	M－8	M－7	M－6	M－5	M－4	M－3	M－2	M－1

《次ページへ続く》

Aモード （アキュラシーモード：強め）

他モードのようにテンションを抜いていく補正系ブレーキではなく、全体にブレーキを掛け続ける最も強いセイフティーブレーキ設定

キャスト直後から回転を強く抑え込み、中盤以降も補正せずにテンションをかけ続け、オーバーランを排除します。
そのブレーキ特性は特に近距離でのピッチングやスキッピングなどのアキュラシーキャストで本領を発揮。従来機種のＤＣブレーキが苦手としていた低速回転域でも十分なブレーキを確保しています。
グラスのクランキングロッドとフロロカーボンラインで近距離を鋭くライナーキャストするカバークランキングにも相性ピッタリ。パワーゾーンが異なり、手投げでルアーを無理やり投げ込まなければならないグラスロッドでの変則キャストもしっかりとコントロールできます。

ダイアルNo.	8（Max.）	7	6	5	4	3	2	1（Min.）
	A－8	A－7	A－6	A－5	A－4	A－3	A－2	A－1

Wモード （ウインドモード：やや強め）

完全な向かい風によってルアーの飛行速度が急速に落ちる状況でさえも、バックラッシュを抑え飛距離を伸ばす驚異のブレーキモード

キャスト直後のオーバーランを強力に抑えつつ、中盤以降はルアーに微弱なテンションをかけながら飛行姿勢を整え、強いながらも距離を伸ばします。
ブレーキの掛かりすぎを防ぐ補正系（瞬間的なブレーキのオンオフを自動的に行い、スプール回転数を下げすぎない）のため、バックラッシュをさせずに可能な限り飛距離を伸ばしてくれます。飛行中に回転して減速しやすい重心固定ミノーやフラットサイドクランク、Ｓ字系ビッグプラグなどにも最適です。
Ｗ－８～２までは等間隔でボリューム設定されていますが、Ｗ－１だけはかなりブレーキが弱く設定されており、Ｍ－７～８相当のブレーキがクロスオーバーしています。追い風をうけたり、よく飛ぶルアーに交換した場合にでもモード変更するのが面倒なときには大変便利な設定になっています。
風の有無に関わらず、比重の重いフロロカーボンライン使用にも最適。（ナイロン設定より１～３段階ほど強くするのがコツ）

ダイアルNo.	8（Max.）	7	6	5	4	3	2	1（Min.）
	W－8	W－7	W－6	W－5	W－4	W－3	W－2	W－1

より快適にデジタルコントロールブレーキを使用して頂く為の注意点

●糸の重さによる慣性、惰性

ナイロンとフロロカーボンラインでは比重が大きく異なります。フロロカーボンラインではスプール回転の立ち上がりが遅く、逆に回転の惰性が長引くため､ルアーが減速を始めた段階でのオーバーランを引き起こしやすくなります｡(簡単に言えば､重いスプールを使っている状態に近くなります｡)そのためフロロカーボンライン使用時にはブレーキを１～２段階強くするか、モードを **A**、**W** に切り替えるなどの対応が必要になる場合がありますのでご注意下さい。また、細糸使用時などに下巻きラインを巻く場合は、より軽量のナイロンもしくはＰＥのご使用をお勧めします。

●糸巻き量、スプール回転数

ブレーキセッティングはフルライン（スプールの95% 糸巻き量）の状態を前提に作られています。これより糸巻き量が少ない場合は、スプールの回転数が上がりやすくなるため、ブレーキが強く利きすぎる場合があります｡そのような場合はブレーキを弱くするほうが良いこともあるので、ご注意下さい。

●糸の太さ、スプール回転数

糸の太さによって、キャスティング時のスプール回転数の下がり方が異なります。同じ糸巻き状態で同じ速度でルアーが飛んでいる場合には糸が太いほうがスプール径が早く痩せ、スプール回転数は多くなります。そのため、太い糸のほうが理論的にはブレーキが強くかかりやすい傾向があります。10 ポンドラインと 20 ポンドラインではブレーキ設定も変わる場合があり、フロロカーボン 10 ポンドとナイロン 20 ポンドでは２段階ほど差が出ること（フロロカーボン 10 ポンドのほうがブレーキが効きにくい）もあります。

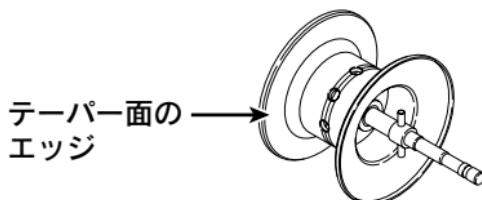
●ベアリングの回転状態、汚れ

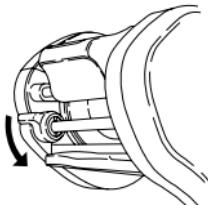
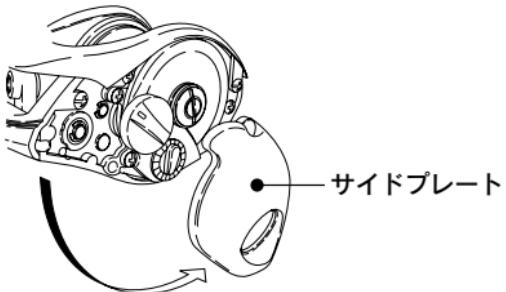
アンタレス DC7LV のブレーキプログラムは汚れのないスムーズな回転状態のベアリングで設定されています。汚れ、オイル切れ等の回転状態の悪いベアリングを使用した場合はブレーキが効きすぎるように感じる場合がありますのでご注意下さい。(多少のベアリング汚れ等であれば、ブレーキを若干緩めることで対処できます。)

●風向、風力

風向と風力によってルアーの飛びは大きく影響を受けます。特に真正面からの向かい風は、ルアー、ラインに大きな影響を与えます。
特に弱めに設定した**M**、**L** モードでは風向に注意しながらブレーキ設定をして下さい。このモードでは風の影響で簡単にバックラッシュする場合が多いので、ご注意下さい。

●糸巻量のご注意

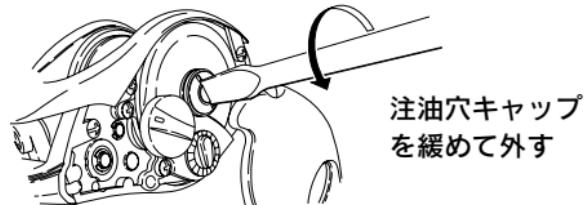
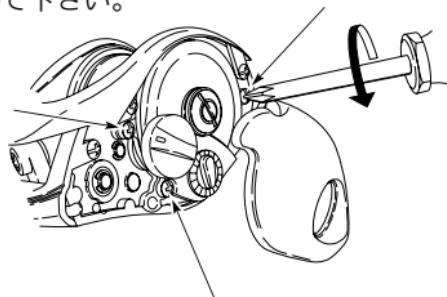
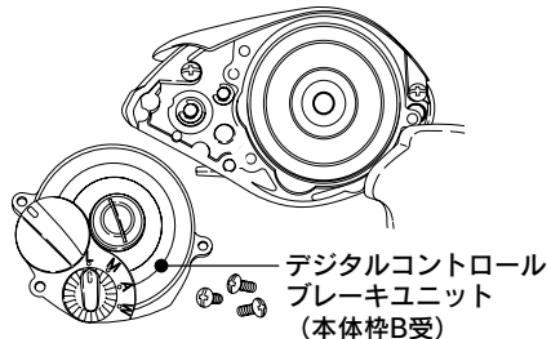
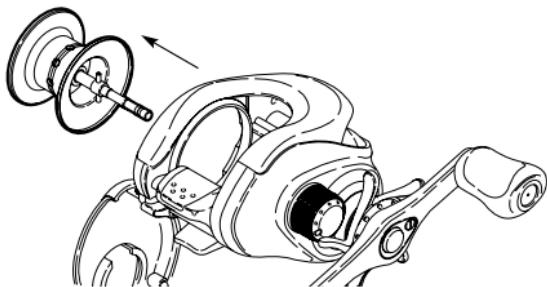
ブレーキ設定はスプールのテーパー面のエッジ(下図矢印)までの糸巻量で行っています。それよりも多く巻くとブレーキの効きは弱くなり、少なく巻くと強くなります。

エスケープハッチの開閉 + 注油方法 ※ライトハンドルのイラストで説明しています。

1. エスケープハッチレバーを矢印方向に倒すとサイドプレートが開きます。

2. サイドプレート全体を支点を軸に回転（スライド）させて開きます。

※エスケープハッチを閉じる場合にはレバーを下げた状態にして下さい。上がった状態では閉じませんのでご注意下さい。

※サイドプレートが閉まりにくい場合は、プレートを前後左右に少し動かしながら閉めてください。

●ベアリングに注油される場合

2. の状態で注油穴キャップをマイナスドライバーを使って緩めて取り外し、注油します。

※ 16 ページ「注油についてのご注意」を参照して行ってください。

3. さらに分解される場合には、矢印の３点の黒いネジを緩めて下さい。

4. デジタルコントロールブレーキユニット（本体枠 B 受）が外れます。

5. スプールを抜き取ります。

分解時のご注意

- DC ブレーキユニット、スプールを取り外した際のお取り扱いには十分にご注意下さい。
- 分解の際はネジの幅に合ったドライバーをお使いください。
- 組み付けの際はあまり強く締めすぎますと本体やネジを痛める場合がありますのでご注意ください。
- 電子部品は、全て DC ブレーキユニット（本体枠 B 受）の内部に取り付けられています。
- 本体枠 B 受に装着されているコイルに力を加えないようご注意ください。変形するとトラブルの原因になります。
- 本体枠 B 受から電子基板を**絶対に取り外さないでください。**取り外された後の性能保証はいたしかねますのでご注意ください。

《次ページへ続く》

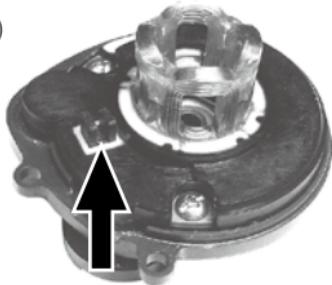
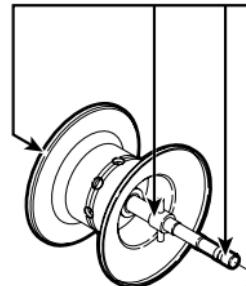
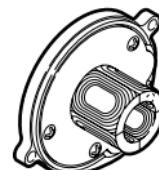
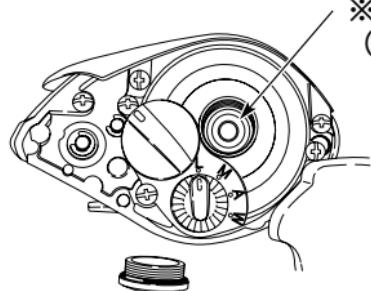
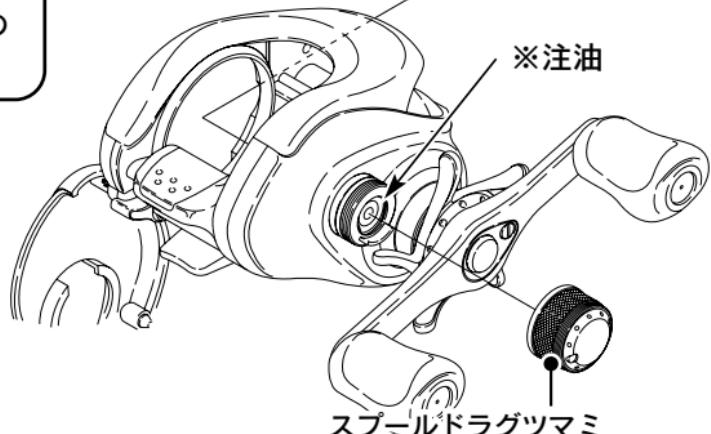
■注油についてのご注意

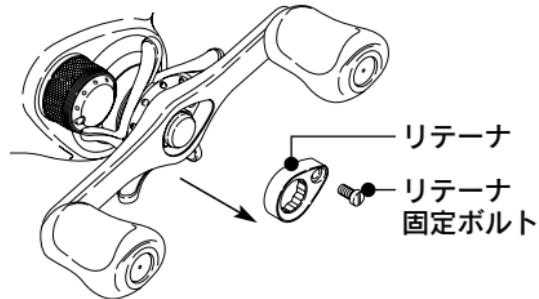
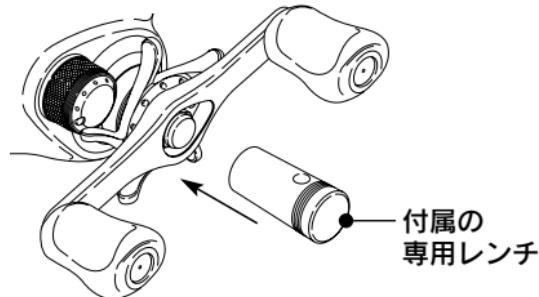
アンタレス DC7LV の優れた性能を長く維持するために、図（次ページ）の**※注油**の箇所にはリールに付属の専用オイル、またはシマノリールメンテスプレー（セット）SP-003H のオイルスプレー、シマノリールオイルスプレー SP-013A をまちがえないように噴霧してください。（シマノ以外のオイルは使用しないでください。）
オイルはごく少量で充分です。特にベアリング部分は、あふれるようであればティッシュペーパー等で吸い取っておいてください。ドラグ部にはオイルは注さないでください。

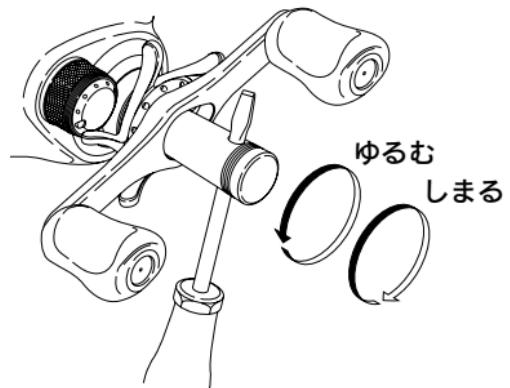
※**スプールドラグツマミ**を緩めた状態でベアリング注油穴キャップを締めてください。スプールドラグツマミを締めたまま注油穴キャップを締めると､スプールのガタ付きがでやすくなります。

※**スプールドラグツマミ**は微調整を可能にするため、繊細なマイクロピッチスクリュー加工が施されています。そのため再取り付け時にはネジ山をつぶさない様、確実にネジ山がかみ合ったことを確認の上、ねじ込んでください。

※メンテナンス時、基盤表面にオイルなどを塗布されますと、機能異常を生じる場合がございます。特に**〈図 A〉**の矢印で示す光センサー表面には、オイルが回らない様ご注意願います。
また､光センサー周辺に塗布されておりますコーティングは、機能上必要な撥水剤ですので剥がさない様ご注意願います。

〈図 A〉
光センサー（右図）
表面にオイルが
回らない様
ご注意ください。
光センサー（白い四角形上の
2本の四角い出っ張りの間）
※注油
※注油
※注油
（ベアリングへ）
スプールドラグツマミ

ハンドル部分の分解方法　※ライトハンドルのイラストで説明しています。

1. リテーナ固定ボルトを緩めてリテーナを取り外します。

2. 付属の専用レンチをナットに差し込んでください。

3. 図のように専用レンチの穴にドライバーを差し込み、ナットを緩めてハンドルを取り外します。

※レフトハンドルは回転方向が下図の逆（逆ネジ）となりますのでご注意ください。

メンテナンス方法

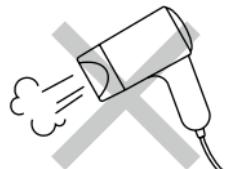
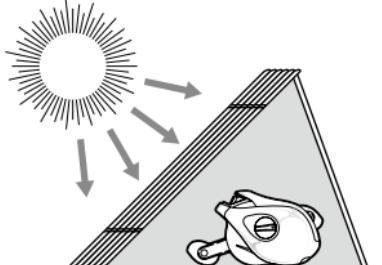
■海での使用後のご注意

アンタレス DC7LV は海での使用を前提とした防錆処理を加えていますが、より長く性能を維持するため、以下のことにご注意下さい。

●リールに付着した塩分、ゴミ等は真水に浸した柔らかい布できれいに拭き取って十分に乾燥させて下さい。いちじるしく海水が浸入したと思われる場合は､当社アフターサービスへオーバーホールとしてお預けいただくことをおすすめします。

■海での使用後の基本的なメンテナンス順序

1. 水洗い…シャワー等の真水で 1 ～ 2 分間水洗いしてください。
スプールを取り外し、スプールのみを水洗いしていただくとさらに効果があります。
※温水はグリスを洗い流す可能性があるのでお避けください。また、同様の理由でリール本体を水没させないでください。

2. 乾燥…直射日光を避け、陰干ししてください。
※直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。

直射日光

ドライヤー

3. オイル注油…16 ～ 17 ページ「注油についてのご注意」の図で示す部分に、ごく少量オイルを注油してください。付け過ぎはかえって回転を悪くする場合があります。

《次ページへ続く》

●お願い

・リールの状態は使用頻度のみならず、使用環境、使用方法、対象魚等によって大きく異なります。回転時のゴロつき、引っ掛かりの症状が出た場合は、**直ぐさま弊社サービスへ、そうでなくとも半年に１度はお預けいただくこと**をおすすめいたします。**お買い上げの販売店にてお受けしております。**
・リールを水没させ数時間放置しますとドラググリスが水に流れ出てしまいます。ご留意ください。
・オイル、グリス類は**当社指定のもの**（SP-003H、SP-013A、SP-023A）をお使いください。そうでない場合の品質の保証はいたしかねます。ご留意ください。
・釣行後は竿にセットしたままにせず、リールをはずして水洗いしてください。竿にセットした状態で水洗いされましても、リールシートのフード部とリールの脚に溜まった海水を洗い流せない事がしばしばあります。
・ハンドル握りには滑りにくい樹脂素材を採用していますが、油によって膨潤する場合があります。ベアリングのメンテナンスの際には、なるべく油分（バンタムオイルなど）が付かない様にご注意下さい。また油分が付着した場合には、速やかに拭き取って下さい。
・S A-RB（耐塩水ベアリング）は錆び難いベアリングです。ベアリング内部に塩水が侵入する(塩噛み）のを防ぐものではありません。

●ベアリングの塩噛みについて

基本的なメンテナンスを怠ると、ベアリング内部に塩水が残り、乾燥して塩噛みを起こす恐れがあります。錆びている訳ではありませんが、同様に音鳴り、ゴロ付き等の症状が出ます。乾燥した塩を払拭する事は殆ど出来ません。例えＳ A-RBであっても、完全な解消方法はベアリングの交換しかありません。ご注意下さい。

■水没した際の応急処置

1. 水抜き…内部に侵入した水を抜いてください。

2. 水洗い…19 ページ「海での使用後の基本的なメンテナンス順序」をご参照ください。

3. 乾燥…19 ページ「海での使用後の基本的なメンテナンス順序」をご参照ください。

4. オイル注油…16 ～ 17 ページ「注油についてのご注意」をご参照ください。オイルの付け過ぎはかえって回転を悪くする場合があります。※長く噴霧させると逆流します。**決してグリススプレーは使用しないでください。**

●お願い

以上はあくまで応急処置です。不意に水没された場合は、できるだけ早く当社のメンテナンスを受けられるよう、お買い上げの販売店にお預けください。

※メンテナンス価格はおおよそ ¥3,500 プラス部品代になりますが、状態によって異なります。

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。

注 意	
	●糸をリードするレベルワインドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれてけがをするおそれがあります。 ●ハンドルとボディの間に手をはさむと、けがをするおそれがあります。
	●糸が勢いよく出ている時は、糸にふれないでください。糸で指を切るおそれがあります。
	●回転しているスプールには触れないでください。けがをするおそれがあります。

リールのお取り扱いの注意

本リールは精密部品で構成されていますので、下記注意事項を守ってお取り扱いください。

●ご使用上の注意

砂、泥、海水は、リールの大敵です。ご使用中、リールを砂地に直接置いたり海水につけたりしないようご注意ください。リール内部に砂や海水が入ると、思わぬトラブルの原因となることがあります。また、真水であっても**リールを完全に水没させるとセンサー部等の水滴が乾くまでブレーキが効かない可能性があります。**ご注意ください。**夏季に高温の車内（70℃以上）に放置しないでください。電子部品が破損する可能性があります。**

根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布切れを巻いて、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。リールはていねいに扱ってください。移動時、特に放り投げや、バック内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。

●お手入れの方法

各部分に付着したゴミ、砂、塩分などは常温のシャワーを軽くかけての水洗いか、真水に浸した柔らかい布でキレイに拭き取って十分乾燥させてください。また、**温水をかけたり、水に浸して洗ったりしないでください。乾燥には、ドライヤーや直射日光に当てるなどの熱を加えることはしないでください。**とくに、シンナー、ベンジンなど揮発性溶剤は絶対に使用しないでください。ドラグ部分には、絶対にオイルをつけないでください。オイルが入ると、ドラグ力が低下することがあります。高温、高湿の状態で長時間放置しますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存する場合は、上記のお手入れを実施後、風通しの良い場所で保存するようにしてください。ご自分で分解・修理をされる場合は、部品のエッジ等で手を切らないようにご注意ください。

本体枠Ｂ受から電子基板を**絶対に取り外さないでください。**取り外された後の性能保証はいたしかねますのでご注意ください。この部品に起因すると思われる不具合が生じた場合には分解せずにリール本体ごと修理にお出し下さい。保証期間内であれば保証書を添付願います。

商品のお問い合せ・アフターサービスのご案内

●リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。お手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様のお電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

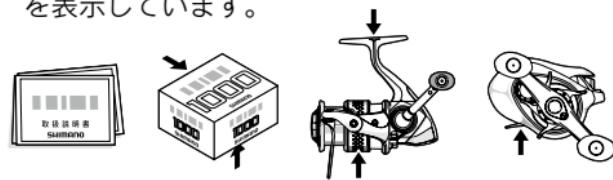
●修理に出されるときには、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所､不具合内容を具体的に（例／ストッパーが働かない）お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。修理品は部品代のほか工賃をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。

●ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧いただき、製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、お買い上げの販売店にご注文ください。内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお薦めします。

例／製品名：ステラ 1000S
商品コード：02425
製品コード：SD83B012
部品名：スプール　部品番号：2

●弊社ではリール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後 6 年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後 6 年以内でも供給できない可能性がございます。

●商品コード / 製品コードの位置

取扱説明書・分解図・パッケージ底面部もしくは側面部に製品コードの上５ケタ及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示しています。

株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ　仙台営業所
〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町2-17-10　TEL.(048)772-6662
※仙台営業所管轄のお客様のご連絡は埼玉営業所で承ります。

株式会社シマノ　埼玉営業所
〒362-0043 埼玉県上尾市西宮下3-194-1　TEL.(048)772-6662

株式会社シマノ　東京営業所
〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17　TEL.(03)3744-5656

株式会社シマノ　名古屋営業所
〒454-0012 名古屋市中川区尾頭橋2-6-21　TEL.(052)331-8666

株式会社シマノ　大阪営業所
〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3-77　TEL.(072)223-3920

株式会社シマノ　中四国営業所
〒700-0941 岡山市南区青江6-6-18　TEL.(086)264-6100

株式会社シマノ　九州営業所
〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6　TEL.(0942)83-1515

株式会社シマノ釣具事業部　本　社：〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

●商品の性能・スペック、カタログ、イベントやアフターサービスなどに関するお問い合わせ

フリーダイヤル　0120-861130（ハローイイサオ）をご利用下さい。

受付時間：AM9:00～12:00・PM1:00～5:00（土・日・祝日除く）

■シマノホームページ　アドレスは **http://www.shimano.com** です。

新製品情報・釣り情報など、フィッシングライフに役立つ、シマノならではのオリジナル情報を発信しています。
また、カタログのお申し込みも受け付けています。

Printed in Japan（150403）